

第6回「わんぱく広場」を開催！親子体操や輪投げ遊びをしました。



10月15日(月)、10時30分より今年6回目の「わんぱく広場」を遊戯室で開催しました。今回の参加者は27名でした。

今回も年長組さん6名の園児が協力してくれました。保護者の方に予定表を配ったり、未就園児と一緒におもちゃで遊んだり、率先してお手伝いをしてきていました。



担当の先生からの日程説明の後、親子体操を行いました。まず、親子で手をつないでのお散歩です。前回も行った、散歩をしているとカラスが襲ってきて両手で「頭」を押さえる動作です。しゃがんで上手に頭を守ることができました。今回一番楽しかったのは、忍者になった先生が投げる手裏剣を避ける動作です。頭が狙われるとしゃがみ込みます。次の足元が狙われると素早く立ちます。繰り返すと「屈伸」運動になります。膝の曲げ伸ばしなど普段は意識してやっていないので、とてもいい運動になります。



次は、「跳び箱」を使っての動きです。跳び箱の2段目と3段目をマットの上に置き「跳び箱に当たらないようにまたいでいく」という動作です。親子で手をつなぎ上手にまたいで行くことができました。次は「跳び箱の1段目」に馬乗りにもたがり、前まで行って降りる動作です。両足で踏切って馬乗りになるのが難しかったようですが、しっかりとチャレンジすることができました。最後は、1・2段を使っての山登りです。うまく頂上まで行き、ジャンプして下りる子もいました。最後は、親が脇のところを持って持ち上げ、ぐるぐるまわるとご褒美をもらい親子体操が終わりました。



次に、担当の奏子先生と一緒に手遊び歌「ワニの家族」をやりました。お父さん、お母さん、お兄さんといったワニの家族それぞれの特徴をとらえた手遊び歌で、両腕を上下にくっつけたり放したりしてワニの口を表現します。繰り返しが多く、わかりやすい手遊び歌なので、親子で楽しく遊びことができました。また、「りりこちゃんのぱんやさん」という紙芝居も見ました。

手遊び歌や紙芝居で盛り上がった後に、10月生まれの誕生会を行いました。



誕生日を迎えたお友だちは前に出て、担当の奏子先生から素敵なプレゼントをいただきました。

最後の活動では、お花に虫が止まることをイメージした「輪投げ遊び」の道具を製作しました。輪はチラシを利用しました。土台となるものは、お母さんの腕に入るように牛乳パックを活用して作りしました。筒状になった土台

に色画用紙を張り付け、模様となるお花をつけて完成です。子どもたちがお母さんの持つ土台めがけて輪を投げます。土台に投げた輪がうまく入るようお母さんが素早く腕を動かします。入ると飛び跳ねて喜ぶ子もいます。お母さん方はちょっと大変そうでしたが、親子でたっぷりふれ合い、楽しく遊ぶことができました。

※新しい出会いの場、未就園児教室「わんぱく広場」、**次回は12月17日(月)、「クリスマスお楽しみ会」でサンタフーツづくりなどを予定**しております。**事前の予約は要りません。未就園の方ならどなたでも参加できます。**興味のある方の参加をお待ちしております。

【写真】(上3枚)=お手伝いをする年長組のお友だち。恥ずかしがらず進んで一緒に遊んであげていました。(3・4段目)跳び箱を使っていろいろな動きを。障害物を乗り越えていきます。(一番下)「輪投げ」の製作と、親子のふれ合いの様子。